

ジュネーブ及び近郊フランス領のマルシェ

国際電気通信連合 (ITU) 電気通信標準化局 (TSB) スタディグループアドバイザー

おおた ひろし
太田 宏



1. はじめに

ジュネーブ及び近郊のフランス領では定期的に路上でマルシェ(市場)が開かれます。幅広い商品が扱われていて、買い物をせず眺めて歩くだけでも楽しいですし、また、店の人と話しながら買い物をするのも魅力のひとつです。ジュネーブはフランス語圏ですが、英語もそれなりに通じます。筆者が下手なフランス語で話しかけると、返事は英語、なんてこともしょっちゅうです。なお、ジュネーブ市内からはバスなどで簡単にフランス領に入ることができ、シェンゲン協定に基づき、国境でのパスポート提示も必要ありません。値段の安さなどもあり、ジュネーブに住む人たちの中には日常的にフランス領側で買い物をする人も多いです。ただし、スイスはEUには加盟していないので、国境に税関があります。

筆者は、フランス領まで足を伸ばし、マルシェで牡蠣を買ってきて自分で開け、そのまま生牡蠣として食べたり、生ハムやチーズを買ってきてワインのつまみとしたり、マグロを刺身にして食べたり、いろいろな食材をマルシェで購入します。マルシェは酒のつまみには事欠きませんが、そのほかにも野菜、果物、肉類、等々、幅広い商品が売られています。本稿では、マルシェで扱われている商品や開設場所、開設日時等、簡単にご紹介します。ジュネーブを訪れた際、週末などのお出かけの参考にしていただければ幸いです。

2. マルシェでの店舗

店を開く人たちは、テント、商品を並べるショーケースや陳列台などを商品とともに自動車などで運び込み、それぞれ決められた場所で店を開きます。自動車が店の設備の一部に早変わりする場合もあります。マルシェの場所、どこに店を開くかなどはあらかじめ決められています。屋外の、テントでの店という、お祭りの屋台のような一時的なもののイメージがあるかもしれませんが、ここで紹介するマルシェは、毎週決まった時間帯に定期的に開かれるもので、スーパーマーケットなどと同様に日常の買い物をする場所として利用されています。マルシェは午前中に開くことが多いので、朝市、と呼ばれることも多いですが、夕

方に開く場合や、一日中開いている場合もあります。いずれにしても、開いている時間は一般の店舗に比べてかなり短いので、事前に確認してから行くことをお勧めします。また、限られた時間での開催のため、マルシェは多くの人でにぎわいます(写真1)。



■写真1. 多くの人でにぎわうマルシェ

3. 売られているもの

マルシェでは、食品、花、衣類、靴、玩具、書籍、ビデオ・CD類、家具、骨董品など様々な物が売られています。場所、曜日、時間などにより売られているものが決まっており、大きくは、食品、飲み物類が売られているときと、それ以外のものに分けられます。食品類としては、パン、果物・野菜、精肉、ハム、チーズ、魚介類、ワイン、ジュース、スパイスなどが売られています。規模の大きなマルシェの場合には、同じ種類のもの(例えば、チーズ)を扱う店が複数ある場合も多いです。食品については、スーパーマーケットでも同様のものは買えますが、マルシェの方が種類が多かったり、新鮮だったりする印象があります。マグロなど、刺身で食べられるものもあります(一応、買うときに生で食べて大丈夫か確認した方が無難)。ワインなどは、生産者が直接販売していることもあります。なお、フランス側のFerney VoltaireやDivonneでは複数の鮮魚店がありましたが、スイス側(ジュネーブ側)では鮮魚店を見ることがありません。マルシェは毎週開いているとはいえ、曜日、時間が限定され、また、屋外店舗ということで、非



■写真2. 青果店



■写真3. 精肉店



■写真4. 生ハム専門店



■写真5. チーズ専門店



■写真6. 鮮魚店



■写真7. 生花店



■写真8. 古い機械の部品類を扱う店



■写真9. 古書店



■写真10. ゲームソフトなどを扱う店



■写真11. 衣料店

日常感があり、購買意欲がそそられているように感じます。実際、スーパーマーケットと比べると、マルシェの方が混雑しています。骨董品については、がらくたと呼んでいいものもかなりありますが、年代物のラジオやオーディオ製品、古い（例えば、1960年代）雑誌やポスターなど、懐かしいものに出会える可能性もあります。筆者は、精密なペンセットや歯科医が使う歯石除去のための器具など、少々マニアックなものを見たこともあります（写真2～11）。

4. マルシェでの値段は？

詳しく比較したわけではありませんが、食品については、マルシェだからといって、スーパーマーケットなどと比較して特別に安かったり高かったりすることはなく、それなりの値段で売られている印象があります（ただし、物価全般がそうであるように、ジュネーブのマルシェに比べると、フランス側のマルシェ—例えば、Ferney Voltaire等—は

全体的に安めの印象があります）。なお、クレジットカードで支払い可能な場合があります。また、スイスフラン、ユーロのどちらでも支払い可能な場合もあります。

5. マルシェの開催場所・時間

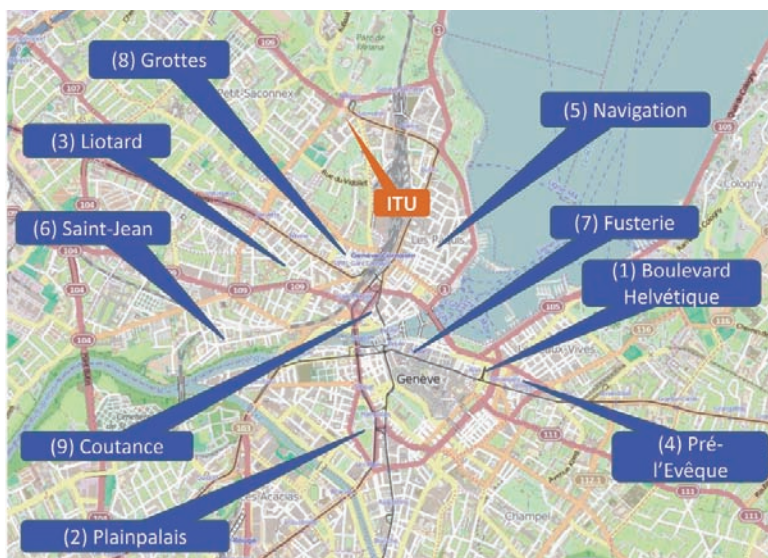
各マルシェは、前述のとおり、それぞれ決まった場所で、決まった曜日、時間帯に開設されます。代表的なものを表及び図に示します。ジュネーブには大小含め、29のマルシェがあり、<http://www.ville-geneve.ch/marches-ville-geneve/>に地図、曜日、時間帯、何が売られているか、を含めた詳しい情報があります。ジュネーブのマルシェはバスやトラムでアクセスできるものが多いです。路線については、<http://www.tpg.ch/>で検索できます。

●Boulevard Helvétique - 地図 (1)

Riveロータリーの近くで、水曜と土曜の午前中に開く中

■表. ジュネーブ及び近郊フランス領の代表的なマルシェ

場所	地図	開設日時	商品	アクセス
Boulevard Helvétique	(1)	水 6:30~13:00 土 6:30~13:45	食品	Rive (バス8番など)
Plainpalais	(2)	日 8:00~19:00 火、金 6:30~13:00	食品	Plainpalais (トラム15番など)
Plainpalais	(2)	水、土 6:30~18:30 (冬季は17:30まで) 第1日曜 8:00~19:00	骨董品、衣類、家具など	Plainpalais (トラム15番など)
Liotard	(3)	月、木 6:30~13:00	食品	Poterie (バス3番、トラム14、18番)
Pré-l'Evêque	(4)	月 6:30~13:00	食品	Terrassière (バス1、25番、トラム12番など)
Navigation	(5)	火、金 6:30~13:00	食品	Navigation (バス1番、25番)
Saint-Jean	(6)	火、金 6:30~13:00	食品	Jean-Jacques (バス7番、9番)
Fusterie	(7)	水、土 6:30~18:45	食品	Place de Neuve (バス3、5番、トラム12、14番など)
Fusterie	(7)	火、金 8:00~18:45	本	Place de Neuve (バス3、5番、トラム12、14番など)
Grottes	(8)	木 16:30~20:30 (冬季は19:30まで)	食品	Gare Cornavin (バス5番など)
Coutance	(9)	土 6:30~14:15	食品	Coutance (バス3、5番、トラム14番など)
Ferney Voltaire (フランス)	地図外	土 8:00~12:30	食品、衣類、靴、家具など	Avenue du Jura (バス「F」)
Divonne les Bains (フランス)	地図外	日 午前 (13時頃まで)	食品、衣類など	スイス国鉄Coppet下車、TPNバス814番で、Divonne-les-Bains, Perdttemps下車



■図. マルシェの開催場所

規模の朝市です。野菜、果物、肉類などの食品が主ですが、魚介類は扱われていないようです。また、生花店もあります。マルシェの時間帯は付近の道路は通行止めになります(写真12)。

●Plainpalais - 地図 (2)

Plainpalais公園全体に展開する大規模なマルシェです。トラム15番などで、Plainpalais下車が便利です。表のとおり、曜日により、食品が売られる日と、骨董品、衣類などが売られる日に分かれます。火曜と金曜は午前中だけ



の朝市ですが、日曜日は朝から一日中食品類を買うことができます。ただし、魚介類は扱われていないようです(写真13)。

●Ferney Voltaire (フランス)

これは、フランス側で開設されるマルシェで、土曜の午前中に開く朝市です。この朝市は規模も大きく、幅広い商品が扱われているため、多くの人を訪れ、いつも混んでいます。魚介類を含む食品全般のほか、衣類、靴、レコードや古本、家具などが売られています。鮮魚店ではいろいろな種類の牡蠣が売られていて、白ワインとともにその場で食べている人もよく見かけます。ジュネーブ市内に近くバス「F」などでアクセスできます(Avenue du Jura下車)。<http://www.ferney-voltaire.fr/grands-projets-economie/economie/les-marches> に情報があります(フランス語)(写真14)。

●Divonne les Bains (フランス)

日曜日の午前中にフランス側で開設される朝市です。規模も大きく、Ferney Voltaireと同様、幅広い商品が売られています。鮮魚店もあり、その場で食べている人もよく見かけます。<http://www.divonnelesbains.fr/marche.html>

に情報があります(フランス語)。ただし、ジュネーブ市内からはやや遠く、電車でCoppetに行き、そこからTPN(Transports Publics Nyonnais、ニヨンの市バス)のバスに乗り換えて行く必要があります。車があれば便利ですが、マルシェが開いている時間帯は駐車する場所を見つけるのに苦労します(写真15)。

6. マルシェでの食事

前述の通り、フランス領側まで行く必要がありますが、マルシェの鮮魚店では多くの種類の牡蠣が売られ、たいてい生でそのまま食べられます。牡蠣を開けるための専用のナイフも簡単に入手できます。購入した後、自分で開けて食べるのもよいですが、買ったその場で店の人に開けてもらい、食べることもできます。週末、朝から白ワインを飲みながら生牡蠣を食べるのも楽しいです(写真16)。その他、日曜日のPlainpalaisなどでは簡易レストランも見られます(写真17)。

7. おわりに

朝市に代表されるマルシェはジュネーブなどで見られる特徴のひとつです。会議の合間など、自由時間のお出かけの参考にしていただければ幸いです。



写真12. Boulevard Helvétique



写真13. Plainpalais



写真14. Ferney Voltaire



写真15. Divonne les Bains



写真16. 牡蠣などを食べる人々 (Ferney Voltaire - フランス領)



写真17. マルシェにおける簡易レストラン